

三原市立宮浦中学校第 1 学年 保健体育科学習指導案

単元名： 球技 「バレーボール」

指導者：三原市立宮浦中学校 藤田 康恵

- 1 日 時 : 平成 27 年 10 月 26 日 (月) 第 5 校時
2 場 所 : 体育館
3 学年・学級 : 第 1 学年 3 組女子 (21 名)
4 単 元 名 : 球技 「バレーボール」

(1) 単 元 観

バレーボールは、2つのチームがコート上でネットを挟んで相対し、ボールを打ち合い一定の得点に早く到達することを競い合うスポーツである。拾う、つなぐ、打つなどの一連の動作を発展させて仲間と連携し作戦を組み立てることで、自己の役割を自覚し、チームとして助け合い勝敗を競い合う楽しさを学ぶことができる。

互いをカバーしあいながらプレーが進められる運動であり、生徒同士の関わり方が勝敗に大きく影響するため、よりよい人間関係を築くためにも役立つ。

また、バレーボールは、全身的な運動であり、敏捷性、調整力などの中学生の時期に高めたい能力を養うことができるとともに、ルールやマナーを守り勝敗や結果を受け入れる公正な態度は社会生活における望ましい態度や行動にもつながる。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校としては、以下の素質・能力の育成に重点を置く必要があると指摘している。

【知識・スキル】①課題解決力②知識・情報活用能力③表現力④コミュニケーション能力

【意欲・態度】⑤協調性・柔軟性⑥責任感⑦主体性・積極性

【価値観・倫理観】⑧自己理解⑨共感力⑩公共心⑪人としての思いやり

この中から、本単元において育成する資質・能力とのかかわりについて、次の3点に重点を置くものとする。

【知識・スキル】

①課題解決力

・バレーボールの基本動作に対し、自己の現状を知り課題を見つけ、段階に応じた取り組みをいれることで、動作の習得をする。また、一連の動きをスムーズにできるか、動きの工夫をしながら個々にあったやり方を見つけさせる。

【意欲・態度】

⑤協調性・柔軟性

・他者と協力し、意見を交換しあう中で、互いに課題を見つけ合うことや、また、他者の意見を取り入れて自分の考えを整理できる協調性や柔軟性を養う。

【価値観・倫理観】

⑩公共心

・バレーボール競技を通し、ルールやマナーを守り勝敗や結果を受け入れる公正な態度を身に付け社会生活における自己抑制力や忍耐力を培う。

(3) 生徒観 (調査結果からみる課題)

1年3組女子事前アンケート

質問	大好き	好き	嫌い	大嫌い
1 体育が好きですか	48%	48%	4%	0%
2 バレーボールが好きですか	43%	57%	0%	0%
3 バレーボールの授業が楽しみか	楽しみ(100%)		楽しみではない(0%)	
4 バレーボールの経験があるか	ある(57%)		ない(43%)	

『バレーボールの授業で特に何を学びたいですか?』という質問に対して

○ルール(5人)	○アタック(5人)	○レシーブ(3人)	○戦術(2人)
○パス(3人)	○スパイク(1人)	○トス(1人)	

アンケートの結果からはほぼ全員が体育を好きだと答えており、その中でもバレーボール競技が大好きである。または、好きであると答えた生徒は全員であった。好きな理由として、仲間と協力してできるからという回答が多く、次に、アタックやレシーブができるようになったら楽しいからという回答が多かった。全員がバレーボール競技に対し良いイメージを持っており、授業が楽しみだと答えた結果から、競技をする上での意欲や関心は高いものだとわかる。バレーボールの経験では経験者が半分以上であったが、未経験者も多く、基本的なルールや技能動作を身につけさせるとともに、仲間と協力してゲームの攻防を理解させる必要がある。

(4) 指導観 (指導改善のポイント)

本時では、バレーボールの特性やルール学び、チームにおける自己の役割を自覚させ、自分や仲間の健康面と安全面に気をつけさせる。また、基本的な動作であるアンダーハンドパスについての技能を習得させる。動作習得手立てとしては、三角コーンなどの物を使って基本姿勢を身につけ、段階に応じた取り組みをして技能を高めていく。

課題解決学習ではグループ活動を通して、お互いに動作を見て課題点を見つけ合う。また、アドバイスや良いところを言い合うなどの声かけをして他者と協力し意見交換の中でコミュニケーション能力の向上を図る。さらに、動作の習得度を記録し、次回に向けての目標を決めることで自己の課題を見つけ、解決に向けた技術練習や取り組みをすることができる。これにより、自己に応じた課題解決型学習が展開できると考える。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- バレーボールのルールやマナーを守り、安全面に配慮させ技術面の向上を図る。
- バレーボールに積極的に参加し、グループ内での自己の役割を考え仲間と教え合い、協力できるようにする。
- 自己の課題を見つけ、課題解決に応じた取り組み方を工夫できるようにする。

単元の評価規準

ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能	エ 知識・理解
①バレーボールのルールやマナーを守り、積極的に取り組もうとしている。 ②練習場や練習方法などの安全を確かめ、健康・安全に留意している。 ③フェアなプレイを大切にしようとしている。	①ボール操作や定位置にもどるときの動きなど技術を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけている。 ②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	①アンダーハンドパスの正しい基本動作ができる。 ②オーバーハンドパス正しい基本動作ができる。 ③サーブの正しい動作ができる。	①バレーボールの歴史や運動の特性について説明することができる。 ②関連して高まる体力を理解している。

6 指導と評価の計画

全8時間 (本時は2/8)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価	
		関	考	技	知		評価規準
1	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・学習のねらい、今後の流れを理解する。 ・バレーボールの特性やルールを説明し、技の名称や体力の高め方を理解する。 	◎				(ア) バレーボールのルールやマナーを守り、積極的に取り組もうとしている。 ○ (エ) バレーボールの歴史や運動の特性について説明することができる。	⑤協調性・柔軟性 ⑩公共心
2	<p style="text-align: center;">情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の習得 ボール操作① (アンダーハンドパス) ・対人パス(ペア・グループ) ・簡易ゲーム (本時は2/9) 	○			◎	(ア) 練習場や練習方法などの安全を確かめ、健康・安全に留意している。 (ウ) アンダーハンドパスの正しい基本動作ができる。	②課題解決力 ⑤協調性・柔軟性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の習得 ボール操作② ・オーバーハンドパス 基本練習 (アンダーハンドパス・オーバーハンドパス) 情報の収集 技能チェック 簡易ゲーム 				◎	(ウ) オーバーハンドパス正しい基本動作ができる。	②課題解決力 ⑤協調性・柔軟性
4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の習得 ボール操作③ (アンダーハンドサービス・オーバーハンドサービス) 基本練習, グループ練習, 簡易ゲーム 情報の収集 				◎	(ウ) サービスの正しい動作ができる。	②課題解決力 ⑤協調性・柔軟性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループパスゲームⅡ (サーブ&パス) 基本練習 グループ練習 サーブ&パスゲーム(ワンバウンド) 情報の収集 				◎	(イ) ボール操作や定位置にもどるときの動きなど技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。	⑤協調性・柔軟性

6	・パス&アタックゲーム I 基本練習 セッターをつけてのアタック練習 パス&アタックゲーム 情報の収集		○		(イ) 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	⑤協調性・柔軟性
7	・チーム練習と作戦① リーグ戦		◎		(ア) フェアなプレイを大切にしようとしている。	⑤協調性・柔軟性 ⑩公共心
8	・チーム練習と作戦② ・リーグ戦 ・振り返り まとめ・創始・表現 振り返り		◎		(ア) フェアなプレイを大切にしようとしている。	⑤協調性・柔軟性 ⑩公共心

7 本時の展開

(1) 本時の目標

アンダーハンドパスができるようになる。

(2) 観点別評価規準

◎ アンダーハンドパスの正しい基本動作を習得する。 【ウ①】

評価方法：行動観察、自己評価カード

(3) 準備物

バレーボール(21),学習プリント(21), 三角コーン(11), 技のポイントが書かれた掲示物(1), ホワイトボード(1), タイマー(1), バドミントンコート(2), 笛(1)

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○誠意とする・勸 ●評価
導入	○体育館内ランニング5周 ○整列、健康観察、挨拶、準備体操(2人一組でストレッチ) 課題の設定 ○基本動作の説明 アンダーハンドパス 【本時の目標】アンダーハンドパスができるようになる。	■運動に必要な筋肉を意識させ、準備運動をさせる。 ■バレーボール競技で特に多い怪我を説明し、準備体操の重要性を意識させる。	

展 開	<p>○説明後、ペアでアンダーハンドパス動作の練習をする。ポイント用紙を見ながら、お互いにアドバイスをしあい、自己の課題や改善点を見つける。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p> <p>○三角コーンを使った動作練習をする。 (2人一組)</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>○ペアでパス練習 (前回のパス動作と今を比べてみる)</p> <p>○簡易ゲーム(4人一組)</p> <p style="text-align: center;">集団思考</p> <p>4人一組の5チームを作り、バドミントンコートを使ってのアンダーハンドパスを使ったミニゲームをする。</p>	<p>■実際に動作をしてみて、なにが難しいか、何ができないかを考えさせる。</p> <p>◆技のポイントが書かれた掲示物を確認させながら考えさせる。</p> <p>■ポイントを意識して、正しい姿勢で行えているかをペアで声かけをさせる。</p> <p>◆正しい姿勢で行えているかを見て、アドバイスや声かけをするとともに、状況を見て、その生徒にあった段階の取り組みをさせる。</p> <p>■物を使った練習と同じ姿勢でポイントを意識しながら行えているかを確認させる。また、最初のパス練習の時に比べてどうか考えさせる。</p> <p>■チームで声かけをさせて、全員が協力しながら取り組ませる。</p>	<p>⑤協調性・柔軟性 (行動観察) 既習事項を正しく用いて相手にわかりやすく表現できる。</p> <p>●アンダーハンドパスの正しい基本動作を習得できているか。 (行動観察)</p> <p>⑤協調性・柔軟性 (行動観察) 他者と協力し、自分の意見をいうことや他者の意見を取り入れ考えを整理する。</p>
	ま と め	<p>振り返り 学習の成果を発表する。</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p>	<p>■本時の目標が達成されたか、学習カードで振り返らせる。また、次回に向けての自分の課題を記入させる。</p>

(5) 板書計画

<p>【本時の目標】 アンダーハンドパスができるようになる。</p> <p>〔授業の流れ〕</p> <p>①自己の課題確認 ②アンダーハンドパス練習 ③グループでパス回し ④簡易ゲーム</p>	<p>アンダーハンドパスのポイント</p> <p>1.肘が伸びているか 2.手首をそらしているか 3.面でボールを押しているか 4.ボールの落下点を確認しているか 5.腰を落としているか</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

バレーボール学習カード

自己評価 ／ 関 意 態		1	2	3	4	5	6	7	8	合計	
	自分から積極的に力いっぱい活動 ができたか										
	準備や片付けなど自分の役割を果 たすことができたか										
	仲間と教えあって学ぶことができ たか										
	ルールを守って安全に、練習や試合をす ることができたか										
よくできた・・・4 まあまあできた・・・3 あまりできなかった・・・2 できなかった・・・1											

次	今日の目標	授業で気づいたこと, 考えたこと, 感想を書こう	確 認
1 /			
2 /			
3 /			
4 /			
5 /			
6 /			
7 /			
8 /			

年 組 番 名前 _____